

病理解剖の申込要領【院内用】

令和 5 年 4 月より土日・祝日の剖検は行っておりません。

1. 病理解剖の申込：

- ・ 内線 7440 または 7448 に電話で申し込んで下さい。
- ・ 受付時間は平日の 8：30～17：00 です。17 時以降の受付はいたしませんので、受付時間の厳守をお願いします。
(開始時刻については御相談に応じます。)

* 剖検の申し込みが一時に重複した場合には剖検開始を多少お待ちいただくことがあります。

* 重症感染症（肝炎、AIDS、結核、梅毒等）のある場合は予め必ず明らかにして下さい。

* HIV 感染症、C-J 病、開放結核等などの感染対策の必要な剖検についてはお電話にて御相談下さい。

2. 必要書類：

- ・ 診療支援端末よりオーダーを立て、プリントアウトしてください。
- ・ 下記の 4 種類が必要となります。(1)(3)(4)につきましては、東北大学病院病理部のホームページ下段「病理解剖について 院内用」よりダウンロードして記載してください。(<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/departments/d3202>)
- ・ 必要書類の準備が調い次第、まず先進医療棟 2 階の病理部事務室にお持ちください。 事前にこちらで記載内容を確認致します。
(これまで書類不備にて剖検が開始できないことが度々発生しています。)
ご遺体は、書類確認後に剖検室に移動してください。

(1) 承諾書（一通）

- ・ 剖検に先立って記載の上、御遺族の方の捺印を忘れずにおして御持参下さい。 サインは不可です。（医師の印も忘れずに押してください。）
- ・ 死亡者の氏名には必ずフリガナを付けて下さい。（年一回行われる「慰霊祭」の招霊に際して読み違いをして御遺族の方からお叱りを受けることがあります。）

(2) 死亡診断書または死産証明書（名前のつかない胎児）（一通）

- ・ 謝金の支払い手続き上必ず必要な書類となりますので、絶対に忘れないようお願いします。遺族に渡してしまった場合は、後日コピーを郵送してもらうことになります。
- ・ 診療支援システムからダウンロードして記入下さい。
- ・ 死亡診断書のサインについては自筆署名のみで、医師の印鑑を押していなくとも大丈夫です。

(3) 臨床記録プロトコール

- ・ 記録は要点を詳細に記載して下さい。
- ・ 剖検輯報記載の際に必要ですので、職業（現在無職の場合は、一番長かった職業）の記載は忘れずにお願いします。
- ・ 教授検閲時に必要となりますので速やかに提出して下さい。

(4) 解剖終了通知書

- ・ 医師の印も忘れずに押して下さい。

3. 遺体冷蔵庫の使用について

- ・ 院内症例については、時間外の場合、翌朝まで遺体冷蔵庫にご遺体の保管ができます。
- ・ 遺体冷蔵庫は先進医療棟地下1階、剖検室入り口横にあります。
- ・ ご遺体を入れた遺体冷蔵庫には必ず鍵をかけ、鍵は翌朝まで主治医の先生が責任をもって保管して下さい。
- ・ 翌朝8時半に上記受付用電話に電話をして受付を行い、病理解剖開始予定時間になりましたら、遺体冷蔵庫の鍵を持参し、主治医の先生が遺体冷蔵庫を開けてください。
- ・ 遺体冷蔵庫はご遺体の保管のためものではありません。
病理解剖の予定のないご遺体の保管は絶対なさらないうお願いします。
- ・ 遺体冷蔵庫に関して不明な点は、あらかじめ平日日中（17時まで）、病理部事務室内線 7440 または 7448 にお問い合わせ下さい。

4. 御遺体の着衣：お着替え様に新しい浴衣と紙オムツを必ず準備して下さい。

5. 白装束、寝棺、骨箱については提供しておりません。ご遺族・葬儀社への連絡等も主治医側で行って下さい。病理側から業者に連絡することはありません。

6. 霊安室の利用：必要な場合は主治医が手配を行って下さい。病理側では一切関知致しません。

7. 御遺体運送

(1) 病棟から剖検室へ

御遺体の運搬、搬出は各病棟で責任を持って行って下さい。

(2) 剖検終了後の御遺体の引き取り：

霊安室の運営変更に伴い、解剖室で御遺体の引き渡しを致します。

剖検後は主治医が必ず御遺体を確認して引き取って下さい。業者のみに任せることはお止め下さい。

* なお、火葬は死後 2 4 時間を経たないと出来ませんのでご注意下さい。

お問い合わせ先

平日 8 時 30 分-17 時：内線7440 または 7448

上記以外：autopsy.byouri@gmail.com（随時お返事いたします）

* ご不明な点は、事前に上記時間内に東北大学病院病理部にお問い合わせ下さい。